

第3回武蔵野市図書館運営委員会選書部会の記録

日 時 平成 16 年 11 月 29 日 (月) 午後 6 時 30 分
場 所 中央図書館 4 階会議室
出席委員 毛利和弘部会長 赤星昌子委員 池田 泰委員
山本輝子委員 米山吉祥寺図書館長 丸本サービス担当係長
事務局出席職員 三木館長 村田課長補佐 柏倉図書担当係長 森川西部図書館長
並木主任 尾上主事 船崎専門委員

議題及び内容

○ 主な協議内容

(1)議題

武蔵野市図書館の選書について

武蔵野市立図書館地域資料の収集・保存に付いて

その他

なお、主な意見等は以下のとおり。

- ・ 前回問題になった不明図書問題については、実情を訴えて盗難防止装置の導入など積極的に PR していただきたい。
- ・ 来年度予算では、資料費にデジタル情報などのデータベース購読を含めて編成しようとしている。また、このたびの補正予算では、武蔵野文庫解説目録と実際の所蔵資料との突き合わせを行いリスト化するための委託を計上した。
- ・ 3 階の行政資料コーナーにあるのが武蔵野文庫なのか。
→すべてがそうでない。
- ・ 貴重な資料で、中には郷土資料館に近いようなところにあって然るべきものもある。
- ・ 図書館の永久的な財産なので、空調などの管理をきちんとしておかねばならない。
- ・ デジタル化して一般に利用する方法も考えられる。貴重な資料を保存するという意味では歴史資料館との関係もでてくる。
- ・ 貴重書は歴史資料館に保存して、デジタル情報化したものは図書館でというのが理想か。
- ・ 郷土資料、行政資料は公共図書館の売りの部分なので、どういうコレクションを持つか、特色を持たせるかは今後重要である。
- ・ 調べものをしたいときに、本物と復刻や子どもが読めるようなものが同じところにあって、色々なレベルで研究できるスペースがあるといい。
- ・ 図書館の良さは並べ方によって発見があることだ。
- ・ コンピュータは鳥かんすることができない。並べ方を工夫するなどマーケティング志向を図書館でも取り入れていかなければいけない。
- ・ 予算に関してデータベースについては、電子資料ということで資料費にいれていいと思う。
- ・ 子ども向けの武蔵野市史を作っていきたい。
- ・ 郷土行政資料の中で姉妹友好都市とあるが、資料集めも大変ではないのか。
- ・ 近隣市の場合は近いので地元の図書館で集めればいいが、姉妹友好都市は距離が離れており、ある考えをもって武蔵野市がお付き合いさせていただいているところなので積極的に集めている。書架の中に姉妹友好都市コーナーがある。

次回 平成 17 年 1 月 31 日 (月) 午後 6 時 30 分から